





## 第4章：唐時代から宋・元時代 世界に広がる中国陶磁

シルクロードにより東西の文化を吸収した華麗で荘厳な唐三彩から、中国陶磁史上、造形や釉調、文様の美しさが極まった宋・元時代のやきものについて概観します。越州窯・耀州窯・龍泉窯の青磁、定窯の白磁、景德鎮窯の青白磁、素朴で力強い磁州窯などの作品を紹介します。



三彩駱駝 鞏義窯 唐(8世紀)



青白磁水注 景德鎮窯 北宋(11世紀頃)



青磁貼花蓮花文香炉 龍泉窯 南宋(13世紀)

## 第5章：明・清時代のやきもの 青花・五彩と文人趣味

世界が憧れた青花や五彩磁器には、当時の皇帝の嗜好や美意識が反映されています。景德鎮窯や漳州窯の作品を中心に、中国陶磁の美意識の推移と技術の発展をたどりま



青花芙蓉手盤 景德鎮窯 明(16世紀頃)



五彩花鳥図盤 漳州窯 明(17世紀)



黒地素三彩四季花図方瓶 景德鎮窯 清(17世紀頃)

### 【広報画像使用・取材申請について】

当企画展の画像使用や取材の申請は、アサヒグループ大山崎山荘美術館ウェブサイト「プレスリリース」内の広報画像・取材申請フォームからお願いいたします。追って広報担当よりご連絡いたします。

<https://www.asahigroup-oyamazaki.com/pressroom/>

※アサヒグループ大山崎山荘美術館のプレスリリースは2024年4月上旬頃発表予定

プレス用お問い合わせ

〒618-0071 京都府乙訓郡大山崎町銭原 5-3

アサヒグループ大山崎山荘美術館 広報担当

TEL：075-957-2364 (受付時間：開館日の10:00～17:00) FAX：075-957-3126

※おかけの際は間違いのないようお願いいたします

展覧会公式サイト：<https://www.asahigroup-oyamazaki.com/exhibition/chineseceramics>

## 【会期中のイベント】

- ① 事業名：煎茶点前実演・解説＋トーク「中国陶磁と煎茶をたのしむ」  
日時：6月8日（土）①11:00～12:30 ②15:00～16:30  
講師：高取友仙窟（煎茶道賣茶流4代家元）、  
田畑潤（愛知県陶磁美術館主任学芸員、煎茶道賣茶流師範 田畑 占仙窟）  
会場：彩月庵  
定員：各回10名  
参加費：※
- ② 事業名：ギャラリートーク「中国やきもの7000年の旅」  
日時：7月14日（日）①11:00～ ②15:00～（各回1時間程度）  
講師：田畑潤（愛知県陶磁美術館主任学芸員）  
会場：アサヒグループ大山崎山荘美術館本館および山手館展示室  
参加費：無料、ただし美術館入館料は別途必要 ※事前申込不要
- ③ 事業名：二胡コンサート（仮）  
会場：アサヒグループ大山崎山荘美術館本館

※イベントの詳細及びその他関連企画については、アサヒグループ大山崎山荘美術館プレスリリース（4月上旬発表予定）をご参照ください。